

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成 21 年 5 月 15 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	宮城県立がんセンターにおける総合省エネ事業
排出削減事業者名	宮城県立がんセンター
排出削減共同実施事業者名	東北電力株式会社 (その他関連事業者名：東北エネルギーサービス株式会社)
事業実施場所	宮城県立がんセンター (宮城県名取市愛島塩手字野田山 47-1)
事業の概要	がんセンターにおけるボイラー更新および電気式高効率ヒートポンプの追加および空調熱源への水冷高効率チラーの追加、および熱源搬送ポンプへのインバーター導入という複数の方法によってがんセンター全体の省エネを図るものである。
排出削減量の計画	701 tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 2,804tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新 方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源機器の更新 方法論番号 004 空調設備の更新 方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

### 3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所： 宮城県立がんセンター</p>
追加性を有すること	<p>1)本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2排出量の削減を目的として実施されたことを、関連事業者である東北エネルギーサービス株式会社及び共同実施者である東北電力株式会社への質問等により確認した。</p> <p>2)本事業が実施できない場合には、既存の設備が継続的に使用されることを質問、関連資料の閲覧、及び事業サイト訪問時の既存設備製造年月日の確認等により確認している。</p> <p>具体的には、排出削減事業の投資回収年数について、入手した根拠資料、質問および検算により全体で4.1年であることを確認した。平成20年の診療報酬改定により病院経営の環境が悪化し、30%以上の病院が赤字に陥っている（全日本病院協会調べ）中、医療業界では3年以上の経営計画を立てるのが難しく、金融機関からも経営計画以内、すなわち3年以内に回収可能な投資実施を依頼されている。</p> <p>こういった背景により、国内クレジット制度の存在がなければ、4.1年という通常の判断基準より長い回収期間を要する本事業の実施は難しかったと判断できる。</p> <p>投資回収年数計算の根拠データにつき、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。</p> <p>3)また、CSR活動の一環である環境保全活動の取組姿勢を広く紹介することが、本事業の目的の一つであり、国内クレジット制度を活用することにより、本事業実施が可能となったことについてヒアリングにより確認している。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>関連事業者である東北エネルギーサービス株式会社及び共同実施者である東北電力株式会社への質問等により、宮城県立がんセンターが自主行動計画に参加していない事業者であることの確認を実施している。</p>

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 001、002、004 及び 005 の 4 つの方法論に基づき排出削減量を計算しており、また、其々の方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認している。</p> <p>2) 既存の対象設備、照明器具等の使用年数が法定耐用年数である 15 年の 2 倍（30 年）を超えていないことを、設備の製造年に関する確認、質問、関連書類の閲覧を通じ確認している。</p> <p><b>【方法論 001 ボイラーの更新】</b>  適用条件 1 については、ボイラーの管理日誌及び仕様書等の確認により既存の設備より高効率のボイラーを導入することを確認している。  適用条件 2 については、既存のボイラーが未だ使用可能であることを関係者への質問により確認している。  適用条件 3 については、更新後のボイラーで生産する蒸気又は温水が自家消費されることを、視察、全体レイアウト図の確認、及び関係者への質問等により確認している。</p> <p><b>【方法論 002 ヒートポンプの導入による熱源機器の更新】</b>  適用条件 1 については既存熱源設備の仕様書の確認等、エコキュートの技術仕様書の確認等によって、高効率ヒートポンプを導入することを確認している。  適用条件 2 については、事業サイトの視察、全体レイアウト図の確認、及び関係者への質問等により、エコキュートが病院内の温水供給のために用いられることを確認している。  適用条件 3 については、既存の熱源機器が未だ使用可能であることを関係者への質問等により確認している。  適用条件 4 については、エコキュートで製造された温水が自家消費されることを視察、全体レイアウト図の確認、及び関係者への質問等により確認している。</p> <p><b>【方法論 004 空調設備の更新】</b>  適用条件 1 については、既存空調設備の仕様書の確認、新設空調設備の仕様書の確認等によって、高効率の空調設備に更新することを確認している。  適用条件 2 については、既存の空調設備が未だ使用可能であることを関係者への質問等により確認している。  適用条件 3 については、排出削減事業実施前及び実施後の空</p>
----------------------------	---

	<p>調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量である「チラーの年間電力使用量」のデータが遠隔収集サービスにより実績値で計測できることを質問、関連文書の閲覧により確認している。</p> <p><b>【方法論 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入】</b></p> <p>適用条件 1 については、既設のポンプにインバーター制御を導入するものであることを、院内の設備図面及びポンプの仕様書等により確認している。</p> <p>適用条件 2 については、排出削減事業実施前及び実施後の空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量である「熱源搬送ポンプの年間稼働時間」のデータが遠隔収集サービスにより実績値で計測できることを質問、関連文書の閲覧により確認している。</p>
--	--

#### 4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。